

Internet Explorer 用のセキュリティ更新プログラム (2965111)

Internet Explorer の脆弱性対策について (CVE-2014-1776)

概要

Microsoft Internet Explorer を利用して悪意のある WEB ページを閲覧する事により、攻撃者が任意のコードを実行する事の出来る脆弱性が発見されました。

この脆弱性によりアプリケーションが異常動作を起こしたり、遠隔操作される可能性が発生することが Microsoft 社より報告されております。

2014 年 5 月 2 日に Microsoft 社より「Internet Explorer 用のセキュリティ更新プログラム (2965111)」が公開されましたので推奨対応方法に従って対応をお勧めします。

対象

Internet Explorer6 から Internet Explorer11

推奨対応方法

1. Windows 自動更新を有効にしている場合、このセキュリティ更新プログラムが自動的にダウンロードおよびインストールされる為、特別な操作は不要です。
自動更新を無効にされている方、手動にてダウンロード、インストールを行いたい方は下記 URL より更新プログラムを取得しインストールを行ってください。

参考情報

<https://technet.microsoft.com/ja-jp/library/security/ms14-021>

注意事項

上記にてご紹介した推奨対応方法は、弊社が検証を行い攻撃者からの攻撃を完全に防ぐことができると保証しているものではありません。

対応方法を実施する事で別の弊害が発生する可能性がある事をご理解頂いた上で対応をお願いいたします。